

Fitシステム協議会

社団法人格取得へ

19社で新たな門出

Fitシステム協議会は十五日、一般社団法人格を取得する手続きに入った。早ければ今月中に完了し、加盟十九社で新たな門出を迎える。

社団法人格取得に必要な設立時社員は、札幌通運、第一貨物、トナミ運輸、近物レックス、濃飛倉庫運輸、岡山県貨物運送、久留米運送の七社。会長は新田謙一トナミ運輸執行役員情報システム

ム事業部長。理事には、五十嵐敦雄第一貨物常務、新井清近物レックス常務、関東支社長、瀬川義章濃飛倉庫運輸常務、東京支店長、原田和充岡山県貨物運送取締役、東京支店長、堀川春史久留米運送常務の五人が就いた。

情報システムを支える団体を支える団体
今後従来通り、会員一

各社間で荷物の追跡ができるシステムの運営や、EDI標準化推進などの

各種業務を行う。

同協議会は日本路線トラック連盟が解散した昨年三月から任意団体として活動を開始。情報システムに特化した取り組みを続けてきた。だが任意団体では法人としての契約ができないなど活動に制約があり、一般社団法人化を目指してきた。

八月には、ホームページを開設するなど外部に向けた発信を強化し、利用者の拡大も見据える。「物流子会社からの問い合わせもあり、手応えはある(Fit)」。社団法人化を契機に一層の飛躍につなげる。(佐藤 周)